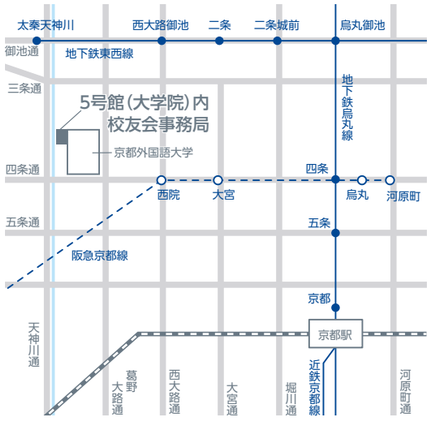
京都外国語大学校友会会報
ALUMNI NEWS No.40
令和７年(2025年)６月16日発行
発行人＝京都外国語大学校友会　会長　左近正則
発行所＝京都外国語大学校友会
編　集＝京都外国語大学校友会　広報委員会



校友会
公式LINE

校友会HP

京都外国語大学校友会
〒615-8558　京都市右京区西院笠目町6番地
TEL:075-322-6057　FAX:075-322-6220
https://www.kufs.ac.jp/koyukai　e-mail:koyukai@kufs.ac.jp

●校友会ホームページをご覧ください。

京都外国語大学校友会　検索

No.40
京都外国語大学校友会会報

KYOTO UNIVERSITY OF FOREIGN STUDIES

ALUMNI NEWS



京都外国語大学校友会

CONTENTS

01 新会長挨拶
京都外国語大学校友会　新会長　左近 正則

02 前会長挨拶
京都外国語大学校友会　前会長　中野 多郎右エ門

前副会長挨拶
京都外国語大学校友会　前副会長　村井 正博

03 理事長・総長挨拶
学校法人　京都外国語大学　理事長・総長　堀川 徹志

04 学長挨拶
京都外国語大学・京都外国語短期大学　学長　小野 隆啓

05 寄稿文
林　孝弘／奥山 沢美／フリアール（白波瀬）亜紀

08 祝「校友会奨学金授与」慶びの声
・外国人留学生給費奨学生（外国語学部・国際貢献学部）／（留学生別科）
・「輝く星となる学生」給費奨学生（外国語学部・国際貢献学部・短期大学）
・「併設短期大学推薦編入学試験入学検定料補助金」授与式の挙行

10 在学生からのメッセージ

12 「輝く星となる学生」奨学生の今／「外国人留学生給費奨学生」の今／
外大祭模擬店／中国語学科創設50周年

13 支部・学科・クラブ同窓会だより
・韓国支部／和歌山支部／教志会／イタリア語学科創設20周年
・福井支部／徳島支部／富山支部／石川支部
・鹿児島支部／滋賀支部／兵庫支部／欧州支部
・Club HAT's／高知支部／上海支部／東京支部
・ソフトテニス部／剣道部／混声合唱団ソレイユ／
第30回小・中学生英語スピーチコンテスト決勝大会開催報告
・能楽部／ローターアクトクラブ／空手道部／少林寺拳法部
・ボクシング部／自然科学研究会／ヨット部／弦楽アンサンブル

20 令和６年度　校友会会計報告、事業報告／令和７年度　校友会事業計画

21 校友会役員／常任幹事／支部連絡先（国内・海外）／活動中のクラブ同窓会紹介

京都写真散策
Kyoto Photo Walk



表紙写真：鴨川にかかる虹の橋

数年前のことだが、朝から降っていた雨が上がり肌寒い日だった。四条大橋を渡ろうと信号待ちをしていた時、欄干の上で多くの人がスマホを手に立ち止まっている。近づいてみると鴨川の上流から北山を背景に大きな虹がかかっていた。こんな美しい虹を見たのは初めてである。思わずカメラを取り出しシャッターを切った。まるで絵に描いたような構図で美しい。ラッキー！　最高のショータイムとなった。虹はすぐに消えてしまったがとても幸せな気分にさせてくれた。

〔写真・文〕 アートディレクター
林　孝弘（s40年度英米語学科卒）

校友会の皆様とともに

京都外国語大学・京都外国語短期大学校友会会員の皆様におかれましては日頃より校友会活動へのご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。この度、校友会会長を務めさせていただくことになりました昭和58年度英米語学科卒業の左近正則と申します。

昨年度まで担当させていただいた校友会支部組織である教志会活動の中で、全国の学校で教職に就かれている校友会の皆様には多くのご支援をいただき研究会の実施・情報交換を行うことができたことをこの場をお借りし感謝申し上げます。

さて、校友会は「大学の教育方針に協力し、その健全な発展を援助するとともに会員相互の交流・親睦を図ること」を目的とし、「総会・支部活動支援・外大祭での協力活動・学生生活のサポート・定期刊行誌ALUMNI NEWS発行・広報活動」などの活動を行っております。

２年後に京都外国語大学創立80周年、また校友会設立65周年を迎えますが、学生の頃から目にしてきた校舎正面に掲げられている建学の精神「PAX MUNDI PER LINGUAS ～言語を通して世界の平和を～」が混迷する世界情勢の中において、時代を超え普遍的で深い意味を持ちます。またAIによる語学学習への意味について様々な議論があることを承知しておりますが、言語を学ぶ意味は言葉を通して人と人とが直接的に相互理解し、多様性を受け入れ、そこから感情の交流が生まれるものであると信じています。

堀川理事長・総長先生、また大学の教職員の皆様からの校友会へのご協力に感謝申し上げるとともに、これからも母校に関わる皆様のより深い絆づくりを目指し、母校ならびに校友会への温かいご支援を力強くお願い申し上げます。

校友会として可能な限り校友会活動に係る情報発信をしてまいりますので、折に触れ校友会HPをご覧いただき、会員の皆様とともに校友会活動をますます活発にできることを楽しみにしております。会員の皆様のご健勝とますますのご活躍をご祈念申し上げ、会長就任の挨拶とさせていただきます。



京都外国語大学校友会
新会長
左近 正則
SAKON Masanori

Message from NAKANO Tarouemon

富士に母校を思う

京都外国語大学校友会
前会長　中野　多郎右エ門



私はこの度３年間の会長任期を満了し退任いたしました。

校友会会員の皆様、大学の皆様にはご理解、ご支援、ご協力を賜りましたことを深く感謝申し上げます。京都仁和寺・創立者森田家墓所、京都黒谷・柔道部恩師三橋先生会津藩墓所、福井県越前町茂原「薬王寺」・恩師重房観修先生墓所を訪ねて始まった校友会会長としての活動では多くのことを学びました。京都外大魂で母校を誇りに国内外で輝いている校友の底力に感心しています。「晴れてよし、曇りてもよし富士の山、もとの姿は変わらざりけり。」（不殺の武士・山岡鉄舟）の富士山のように、そして、「鴨川のふち瀬変れど永久なれや」の母校をこれからも応援し続けたいと決意を新たにしたところであります。後任は校友会教志会会長で教育界において長年経験を積まれてこられた左近氏にお願いすることになりました。校友会が左近新会長とともに楽しく、より発展されますことをご祈念申し上げ、退任の挨拶とさせていただきます。

Message from MURAI Masahiro

お世話になりました

京都外国語大学校友会
前副会長　村井　正博



いろいろな壁があるようですが、どんな壁を感じておられますか。

孫からプレゼント。『脳活ドリル』。少しムッとした。

１日目から10日目まで制限時間も含め指示通りに解いてみた。各ページ全問正解で『正解』としてカウントしたら、正解率は６割で、またちょっとムッとした。

〈例〉（がんこくせううはたつ）並べ替えて、ある言葉に。

「𠮟寿の壁」かな？　何もかも衰えてきている。予定がこなせず少し残すようになってきた。物忘れ、漢字等も忘れるし、少々見にくくもなってきた。足腰も弱り、しびれもある。「危ないから返納したら」とも言われる。本当にこんなはずではなかったのに。

中野会長はじめ役員、監査役の皆さま。常任幹事、支部長の皆さま。長い間、お世話になりありがとうございました。お礼申し上げます。

事務局員の皆さま、日々大変お世話になりありがとうございました。深く感謝し、心からお礼申し上げます。

京都外国語大学校友会のますますの発展を祈念いたします。

プラスアルファ

Message from HORIKAWA Tetsushi

学校法人 京都外国語大学
理事長・総長　堀川　徹志



わたしが英語を習い始めたのは昭和30年（1955年）、中学一年生のときで、家庭教師や塾など無縁だった。英語の先生は熱心なタイプだったが、英語はわたしの得意科目にはならなかった。気持ちを変えたのは高校二年生のときで、敬遠気味だった英語に取り組む決心をしてからだった。数年分の大学入試問題集に取り組むうちに、英語が謎解きのように面白くなってきた。

当時、高校にはまだ英語がNativeの先生はいなかった。耳で聴いた英語といえばラジオ講座とFENだった。FENはFar East Networkの略で、〈米軍極東放送網〉のことである。在日米軍向けの放送で、アメリカにいるような雰囲気で音楽と英語が楽しめた。遠隔地の不安定な電波状態のなかで、わたしはFENをよく聴いた。そのFEN放送で繰り返される言葉があった。

> In Japan or in any other country,
> a little language goes a long way.
> 日本でもどこでも、ちょっと言葉がわかれば、理解が深められる。

これは至言であるし、外国語学習の楽しみである。だが、気づいたことが一つあった。〈long way〉を〈wrong way〉とすれば、「言葉足らずは誤解のもと」の意味になる。まるっきり正反対で、日本人が苦手とされる〈エル〉と〈アール〉の発音の違いからくる。

ところでlanguageを別の語に変えればどうなるか。たとえば、knowledge、friendship、moneyに変えたら。

A little *(something)* goes a long way!

つまり、「何か、ひとつまみ」を加える、そう、「プラスアルファ」を心がければ世界が拡がる。何か新たな歓びが見つかるかもしれない。

ついでながら、〈プラスアルファ〉は日本人だけが理解する表現であって、英語では〈プラスエックス（+X）〉と言う。またFENは現在AFN（American Forces Network）に改称されている。インターネットでAFN goを検索すれば、音楽、ニュースなどが楽しめる。聴いたら、何か〈プラスアルファ〉、いや〈プラスエックス〉が得られるかも。



４月授業開始のキャンパス風景

夢の実現を可能にするコース

Message from ONO Takahiro

京都外国語大学
京都外国語短期大学
学長　小野　隆啓



昨年度、2024年度から英米語学科に、思いっきり「尖った」コース、「ダイヤモンドコース」をスタートさせました。外大生が思い描く全てのことがかなえられるコースです！

まず、ほとんどの学生が４年間の間に、留学したいと思っていることと思います。それが可能です。といいますか、このコースの中では１年間の英語圏での留学が必修です！　必修ですから否が応でも留学することになります。留学先で特別な学費が必要ですよね？　大丈夫です！　留学先大学の授業料は全て無料です！　それに、このコースを修了したら、本学の授業料も４年間のうち留学期間も含めた３年間の授業料が全額免除です！　卒業が１年遅くなりますよね！　なりません！　留学期間も含めて４年で卒業できます。ビジネス界で通用する英語力をつけたいですよね？　つけられます！　留学までにアメリカなど英語圏での就職が可能な英語力をものにできます。

MBAというのをご存知でしょうか？ Master of Business Administrationの略語で経営学修士を意味し、アメリカなどでは優秀なビジネスマンとしては必ずと言っていいほど取得しているもので、その取得が可能となる英語の力と知識が身につき、アメリカなどの大学院に進学することができます。将来アメリカなどの英語圏だけでなく世界のビジネス界で活躍できる人材に成長することができます。英語で夢を現実にする！　それを可能にしてくれるものが、このダイヤモンドコースです。

このコースは、一年目は全ての英米語学科の学生が対象となり、二年目からダイヤモンドコースが始まります。2024年度から始まったということは、一年目が終わりましたので、2025年度、今年の２回生からいよいよ実質的にダイヤモンドコースがスタートします。自分の夢を叶えるため学生を成長させようと考えています。



Developing International Awareness of Multicultural Opportunities through New Discoveries

「心に響く」をモットーに

1965年、東京文京公会堂で開かれた東京TBS・大阪朝日放送共催の大学対抗バンド合戦で、私たち京都外大軽音楽部ラテントリオ「トリオ・ロス・ルセロス」は見事に優勝、日本一になりました。大学４年間で最も印象に残った出来事です。その時、お忙しいなかを東京の会場まで足を運ばれていた本学の創立者、森田倭文子先生は、私たちの優勝を大変喜んでくださいました。その時の先生の満面の笑顔は、いまだに忘れられません。そのバンド合戦で最後まで優勝を争った相手は「慶應義塾大学ライト・ミュージック・ソサエティー」。審査委員長だった音楽評論家の小島正雄氏は「どちらも日本一にしたいくらい甲乙つけ難いが、最後はどれだけ人の心に響いたかが決め手となった」と私たちの優勝理由を述べました。この「人の心に響く…」という言葉が、その後の私の仕事の礎になってきたように思います。



トリオ・ロス・ルセロスの名付け親
トリオ・ロス・パンチョスと共に
（1964年京都国際ホテル）
上列左から柳本・市田・林

大学卒業後、1978年にグラフィックデザインを中心にしたデザイン事務所Bau Creative House（バウ クリエイティブ ハウス）を設立し、会社のシンボルマークやロゴタイプの制作、新聞広告、ポスター制作などの仕事を手掛けてきました。写真は中学時代から趣味で撮っていたのですが、仕事の必要性から本格的に取り組むようになり、1988年にはコンタックスカメラの招待作家としてコンタックスクラブ年鑑に掲載されるなど、プロカメラマンとしても活動してきました。2010年には母校校友会のシンボルマークの一新、校友会会報誌のリニューアルに携わりました。同誌の表紙写真にも継続して取り組み、京都市内をカメラを持って歩き回っています。



林　孝弘　s40年度英米語学科卒

PROFILE（はやし　たかひろ）
1966年　英米語学科卒業
1978年　Bau Creative House（バウ クリエイティブ ハウス）設立
　　グラフィックデザインやフォトデザインを中心にアートディレクターとして活動
1985年から折々に写真展を開催（東京・京都）1987年には写真集「AOYAMA is…」出版（東京／広案企画）
1988年　コンタックスカメラ招待作家　ライフワークとして京都の日常風景を撮影する一方
2015年から弘法大師空海が修行をしたといわれている吉野の大峰山や高野山を撮り始め現在に至る。



林 孝弘写真集『同行二人「高野への道」』
（2024 年12 月出版）

最近では、昨年2024年12月に写真集『同行二人「高野への道」』を出版しました。弘法大師空海が青年期に修行をしたといわれている、吉野の大峰山や高野山に至る古い街道に10年近く通い、撮り続けた写真をまとめたものです。タイトルの「同行二人」とは、お遍路さんが霊場を巡礼する時の白衣に書かれている言葉で、常に弘法大師がお遍路さんに寄り添っていることを表しています。掲載した写真は、実際に私が修験道や街道を歩いている時、岩や樹木、流れ落ちる水、雨上がりの霧や陽の光など山へと至る自然のなかに、「弘法大師空海」の大いなる存在を感じ、心に響いた瞬間に思わずシャッターを切ったものです。また制作する過程では思いがけないさまざまな出会いや幸運に恵まれ、まさにお大師さまとの「同行二人」によって撮ることができ、生み出すことができた写真集であると言えます。いま考えると、大学時代の音楽活動も卒業後のデザインの仕事や写真家としての活動もすべて、どれだけ「人の心に響かせる」ことができるかという、バンド日本一になった時のあの言葉が基本となってやれてきたように思います。また大学時代の友人や仕事で知り合った人と人との繋がり、良いご縁に恵まれたことも私の人生において大きく、心から感謝している次第です。



奥山　沢美

s47年度英米語学科卒

PROFILE（おくやま　さわみ）
1973年　英米語学科卒業
1976年　和歌山県日置川町（現白浜町）の材木屋へ嫁ぐ
1988年　紀州南高梅の製造販売を始める
　　有限会社ヤマイチ本店取締役 就任
2004年　町づくり協議会「大好き日置川の会」設立
　　会長に就任
2011年　一般社団法人南紀州交流公社設立
　　理事長に就任
2020年～2024年　和歌山県教育委員会委員に就任

小さな町の未来への挑戦

人口減少が続く町を何とかしたいと思い、平成16年10月、同じ思いの仲間が集まり、官民一体の町づくり協議会「大好き日置川の会」を設立し、町の活性化の為に活動を始めました。同じ年に、町を通る熊野古道が世界自然遺産に登録され、これでお客様が来てくれると思いましたが、待っていても誰も来てくれず、修学旅行など教育旅行に的をしぼり目的提案をして受入地づくりを始めました。

日置川地域には、和歌山らしさが揃い、熊野古道、森林間伐、紀州備長炭、清流日置川、南高梅、紀州藍染、黒潮流れる太平洋の漁業等、50種類を超える「ほんまもん体験」を３時間以内に組み立て、インストラクターは生業や趣味や技術を活かした地元のおじさんおばさんが担い手です。学校から民泊の要望が多くなり、田舎暮らしが児童生徒の成長に役立つのであればと、平成20年から「田舎に泊まろう！ 農山漁村生活体験」として民泊受入を始めました。心の平和学習やコミュニケーション能力の向上、生きる力を育む等民泊の教育効果をうたい、民泊推進は地域振興事業の大きな柱になりました。平成23年４月１日、一層の発展を願い組織を法人化、「一般社団法人南紀州交流公社」を設立し旅行会社と正式に契約を結びました。現在、町の境界を越え白浜町、すさみ町、上富田町の広域を舞台にほんまもん体験と民泊110軒で行政や多くの皆様の協力を頂きながら「教育旅行の聖地」を目指して活動しています。昨年は、受入人数5,000人、延泊数2,625泊とコロナ前に戻りつつあり、インバウンドの受入れも、韓国や台湾、中国、マレーシア等アジアの国々からの学生団体が多く、民泊は好評で地方に居ながら国際交流を楽しんでいます。若者が持つエネルギーは、地域に活力を与え、精神的にも経済的にも良い効果を得られ地域になくてはならない事業に育っています。３年前、京都外大国際貢献学部を新卒の女性が地域おこし協力隊として着任し、３年間の任期を終え、農家民泊を開くという夢を持ち４月から弊社正職員としてがんばってくれています。都会の若者に地域を担って頂き皆感謝しています。この度当社創立20周年という節目にアルムナイに掲載して頂きありがとうございます。皆様、機会があればぜひお越しください。


和歌山ほんまもん体験、梅ジャム作り
おいしいのができました！









フリアール（白波瀬）亜紀

h2年度英米語学科卒

PROFILE（フリアール〈しらはせ〉あき）
1991年　外大英米語学科卒、1994年 英国立エセックス大学　社会学修士修了
2007年　パリ経営学院　経営学修士（MBA）修了
1994年～1997年　メキシコにて観光ガイド業
1997年～1998年　ロス・アンジェルスにてNGOインターン
1999年～　マルセイユにて仏人夫と結婚し3人の子供を育てながらB&Bを経営
2006年　AXA（パリ本社・日本課）入社、2013年退職
2009年　ゲストハウス起業（副業）、 2013年 3軒目のゲストハウスをオープン

パリで「夢」を叶える
一人旅のトラブルから始まった海外起業

私は現在、パリの片隅で女性専用ゲストハウス「Paris Life」を経営しています。

オープンから15年、今では延べ１万人以上のお客様を迎え、おかげさまでテレビや雑誌にも取り上げていただけるほど成長しました。しかし知識も経験も資金もコネもない人間が海外で起業するということは、決して平坦な道ではありませんでした。

原点は大学時代にさかのぼります。外大でのイギリス短期留学をきっかけに「世界をもっと知りたい」と、50カ国以上をバックパッカーとして一人旅しました。その旅の中、ある冬のベルリンで私の乗る予定だった夜行列車が、雪で運休することになり、途方に暮れていると、たまたま同じ列車に乗る予定だったドイツ人女性が私を家に迎え入れて、とても親切にしてくださいました。この思わぬ出来事は私の中に大きなインパクトを残し、「いつか旅人が安心して泊まれる場所を作りたい」という夢を心の中に描くようになりました。

その後フランス人男性と結婚。３人の子育てをする傍ら、ゲストハウス開業を決意し、ついに2009年最初のゲストハウスをオープンしました。しかし、テロや暴動、コロナ禍など、予期せぬ試練が次々と襲いかかり、経営は大変な困難の連続でしたが、多くの人に支えられながらもそれを仕事にできているのは、本当にありがたいことだと思っています。

憧れのパリに来たけれど、物価は高くて宿泊費と食費で精一杯。ずっと夢に描いてきたことをパリで実現したいが、とても無理…。

でも、諦めきれない！ そう思った人、いませんか？

私もお金はなかったけれど、海外に出て自分の可能性を広げ、ステップアップしたい、憧れていたパリで、自分の夢を実現したいと思っていました。

できることは自分でやるから、宿泊費を最低限におさえたい。その分夢の実現や経験に投資して、パリで自分の可能性を試したいと思っているあなた！

次はあなたの番です！

15年かけて思い描いていたゲストハウスを作った今、今度は私があなたの夢の実現のお手伝いをいたします。





令和６年度

祝「校友会奨学金 授与」慶びの声

外国人留学生給費奨学生

■ 外国語学部・国際貢献学部



トウ カキン（中国）
（日本語学科・4年次生）

優秀な通訳を目指して、日中交流に貢献したい。

チョウ シフウ（中国）
（日本語学科・3年次生）

将来は日中の架け橋として活躍していきたいです。

ハン イ（中国）
（日本語学科・3年次生）

日中文化の違いを研究し、両国の交流を促進したい。

ボウ ホウセキ（中国）
（日本語学科・3年次生）

日中教育法融合で有益な教育を提供する教師になる。



ヒツ シエイ（中国）
（日本語学科・4年次生）

グローバルな視点で社会貢献できる人になりたい。

バ ヨウセイ（中国）
（グローバルスタディーズ学科・4年次生）

異文化交流を通じて、新たな可能性を探りたい。

パク ヒョンギュ（韓国）
（グローバルスタディーズ学科・3年次生）

将来、貿易家として世界を繋ぎ、社会に貢献します。

アデラ マウリン ヌグラハ（インドネシア）
（グローバルスタディーズ学科・r6年度卒）

教育政策で社会に貢献し、質の高い教育を届けたい。

■ 留学生別科



ヨン ジュンホ（韓国）
（留学生別科）

日本文学を韓国に紹介する翻訳家になりたいです。

ハン イー ソー（ミャンマー）
（留学生別科）

日本でITを学び、素晴らしいITエンジニアになりたい。



「輝く星となる学生」給費奨学生

■ 外国語学部・国際貢献学部・短期大学



ナカシマ アケミ
（福井県出身／福井県立足羽高等学校）
（グローバルスタディーズ学科・2年次生）

「チェンジメーカー」として学び、可能性を広げ挑戦し続けます。異文化理解を深め、言語と対話力を磨き、視野を広げています。将来は平和を促進し、人々をつなぐ存在になりたいです。



阿武　美海
（滋賀県出身／近江兄弟社高等学校）
（フランス語学科・4年次生）

この度は「輝く星となる学生」に選出いただき、誠にありがとうございます。今回の奨学金授与を機に卒業後の目標が一層明確になり、学習への向上心もさらに高まりました。今後も目標達成に向け、日々努力していきます。



亀山　佳菜
（滋賀県出身／滋賀県立虎姫高等学校）
（英米語学科・3年次生）

大学には優しくて頼もしい先生方や友人たちがたくさんいて、いつも楽しく勉強に励むことができています。素晴らしい環境の中、自分の好きな勉強をすることができることへの感謝とともに、これからも頑張ります。



ニン ウェー アウン
（ミャンマー出身）
（グローバル観光学科・2年次生）

この度は「輝く星となる学生」奨学金の採用者として選んでいただいたことを非常に光栄に思います。将来は、現地の人々と観光客を繋ぐ架け橋になることを目標に、毎日前の一歩を見て、勉強に集中しています。



長谷川　穂香
（東京都出身／豊島岡女子学園高等学校）
（グローバル観光学科・4年次生）

「輝く星となる学生」として選んでいただいたことを大変光栄に思います。観光を軸に幅広く社会科学の分野での勉強に努め、社会に良い影響を与えられる人になれるよう、これからも日々精進してまいります。



「併設短期大学推薦編入学試験入学検定料補助金」授与式の挙行

2025年１月17日（金）、171教室にて執り行われました。

本制度は、併設短期大学から本大学への編入学試験に合格され入学される皆さんへの支援制度です。

授与式は、中野校友会会長、村井副会長、舟杉副学長、西村課長の出席の下、中野会長から認定書と補助金が手渡され、続けて会長、副学長から祝辞、そして代表 筒井久志さんの謝辞で式は締めくくられました。今年は17名でした。



在学生からのメッセージ





福原 佑菜
英米語学科３年次生

英米語学科で特に頑張ってきたことは、多読活動です。リーディング力や語彙力を強化しただけでなく知識も深められ、また多くの洋書を読破したことで表彰もされました。現在はグランドスタッフになるために、多様な国や文化の人々と円滑にコミュニケーションを取り、多様なニーズに対応できるように、様々な分野について積極的に学んだり、色々な交流の機会を通して、異文化理解を深め、国際的な視野を広げるよう努めています。



國井 由汰
（京都府出身／京都橘高等学校）
スペイン語学科４年次生

大学入学当初、私は明確な目標を持っていませんでした。しかし、スペインでの派遣留学の経験を通じて、国際貿易またはマーケティングの修士課程に進学しようという思いが芽生えました。スペイン政府奨学金申請にあたりDELE C1の資格が必要となるため、来年中の取得に向けて準備中です。卒業までの大学生活も有意義に過ごし、支えてくださる先生方への感謝の気持ちを胸に目標達成に向けて努力します。



森東 なみき
（大阪府出身／大阪府立清水谷高等学校）
フランス語学科r6年度卒

私はフランス留学に行くという目標を持って、この大学に入学しました。１年次生から始めたフランス語ですが、４年間学んだことで「フランス語が話せます」と自信をもって言えるようになりました。言語を習得することは、自分に対する自信につながるとともに、知らなかった世界への扉を開く経験にもなりました。留学先で出会ったフランスの人々、場所、文化は私の大きな財産となっています。



生熊 友輝
（和歌山県出身／和歌山県立新宮高等学校）
ドイツ語学科r6年度卒

私は２年次生の時に、ドイツのバイロイトに留学しました。留学先のドイツでは、国籍の垣根を超え、様々な人との出会いや自分自身の中での新しい発見があり、挑戦することの大切さを実感しました。そしてその経験が今では、私の貴重な大学生活での思い出であり、就職活動や日々の生活を送る上での１つの軸となっています。

ドイツへ行くことに背中を押してくださった先生方、私の留学準備を支援してくださった先生方や友人に感謝しております。



青沼 誠一郎
（奈良県出身／奈良県立郡山高等学校）
ブラジルポルトガル学科３年次生

私は2023年11月18日に京都外国語大学で開催された『第41回全日本学生ポルトガル語弁論大会』に「剣道の美しさ～伝統武術に魅せられて」(A Beleza do Kendo: Fascinado pelas Artes Marciais Tradicionais）という演題で参加し、第４位である駐神戸ポルトガル名誉領事賞を受賞しました。その結果、現在中国のマカオ特別行政区にあるマカオ大学に留学しています。マカオでは文化の違いや日本文化のすばらしさを実感しています。将来はさらに日本のすばらしさを海外に発信できる仕事をしたいと考えています。



高岩 佑輔
中国語学科 r6 年度卒

高校時代に私は、オーストラリアに留学し英語を学びました。その後、この経験を活かして、大学でも外国語を深く学びたいと考え、京都外国語大学、そして中国語学科を選びました。京都外大では中国語と英語を並行して学ぶカリキュラムが充実しています。実際、キャンパスでの毎日は新たな学びの連続でした。特に中国語の勉強は「未知への挑戦」なのですが、先生方の丁寧な指導と友人たちのサポートのおかげで不安を乗り越え、今は成長を実感しています。ここで培った中国語と英語の力、そして学び支え合うことの大切さを胸に、社会人になっても努力を続けます。



髙口 智恵里
（大阪府出身／旭高等学校）
日本語学科r6年度卒

私は、京都外大で日本語教育についてのたくさんの知識と経験を得ました。また、その過程で私の興味や関心はその先にある多文化共生にあることに気づき、グローバル·スタディの科目では国際関係の科目を多く履修し、世界情勢に関する知見を得て、多文化共生のあり方について深く考えるようになりました。

春からは、外大で学んだ知識や経験を生かして国家公務員として外国人施策に携わります。安全安心な日本社会を守っていくことに貢献したいです。



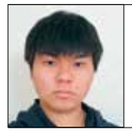
渡邊 楽々
（長崎県出身／聖和女子学院高等学校）
イタリア語学科r6年度卒

“Tentar non nuoce”

何事にも挑戦することの大切さをこの大学とイタリア留学を通して学んだ４年間です。

自ら学びを深めようと挑戦すれば、自分の事のようにサポートして下さる先生方や、応援してくれる沢山の友達に恵まれ支えられた事は、この大学を自ら選び、目標にしてよかったと私が心から思っている事です。

挑戦から学びはうまれる！ このワクワク感をずっと忘れる事なくこれからも日々邁進してまいります。



古永 康真
（大阪府出身／大阪産業大学付属高校）
ロシア語学科３年次生

高校３年生の冬休みに、約40日間かけてロシア語圏である中央アジアに加えて中東やバルカン半島を含む計10カ国（約40都市）を一人で旅しました。当時の私はロシア語が全く出来ず、現地の人々とのコミュニケーションには大変苦労しました。しかし、この旅を通じて文化や歴史、社会への理解が深まり、学びたいという意欲が高まりました。

また、入学後もロシア語圏に何度も訪れ、その度に大学で学んだロシア語や文化、社会の知識を活かしながら試行錯誤を重ね、旅を通じてさらに理解を深めています。



宮川 蒼大
グローバルスタディーズ学科４年次生

As Campus Director for the Hult Prize business plan competition, I gained valuable business knowledge, strengthened my English skills and by working closely with my classmates and professors, I felt my leadership abilities grow. The Hult Prize experience, and others like it, made my university life very memorable. Students seeking a more engaging college experience should definitely consider the Global Studies Department!



田中 萌々花
（岐阜県出身／愛知工業大学名電高等学校）
グローバル観光学科4年次生

私は、京都の魅力を国内外問わず発信する観光メディアALKOTTOの運営をしています。外国人向け英字フリーペーパーを制作しているENJOY KYOTOさんと有志学生で協働しており、毎年外国人観光客向け英字フリーペーパーを発行しています。「歩く」＋「古都」＝ALKOTTOをコンセプトに、歩けば歩くほど面白い発見に溢れる「歩くまち京都」を外大生目線で発信中です。最近ではSNSも活用しながら、京都の未来に貢献できるような大きな観光メディアになれるよう頑張りたいと思っています！



中村 嵐
キャリア英語科
２年次生

短期大学に入学し、私は世界を旅するランチプレート委員会や英志会、学生サポーターなど様々な活動に取り組んでいます。そして、様々な活動や経験を通し、多くの素晴らしい友人や先輩、先生と出会うことができました。委員会では学生食堂に立ち、来ていただいた方に委員会の紹介や、提供している料理の説明などを行い、短大や大学の魅力を受験生の方々に伝えるお手伝いをするなどの活動を通して、多くの人と関わった一年でした。残り一年、資格取得や英語力をより向上させるため、NINJAや多読などを効果的に利用し、自分のレベルをより高いところまで持っていきたいと思っています。



「輝く星となる学生」奨学生の今



中井 涼平
r5年度キャリア英語科卒



私は現在地方公務員として、仕事を失ったり、病気になったり、事故に遭ったりなど、様々な理由で生活に困っている方が、最低限度の生活を送り、自立できるように支える、生活保護のケースワーカーという仕事をしています。皆さんは日本国憲法第25条「すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。」は聞いたことがありますか？　簡単にいうと、私の仕事は誰もがこの権利を本当に行使できるように支援することです。

正直なところ私は元々「福祉」の仕事には興味がありませんでした。しかし、在学中に訪れた世界中の国で、日本では考えられない貧富の差を目の当たりにした経験が、今の仕事へのヒントとなり私の背中を押してくれていて、今では福祉の仕事がとても楽しく誇りを持って働いています。

京都外大での学びは、将来思いもよらない形で皆さんの人生の糧になるかもしれません。なので、今は全力で学生生活を楽しんで、やり残しのないキャンパスライフを送ってください！

「外国人留学生給費奨学生」の今



李 豊江
r5年度日本語学科卒

「は」か、「が」か？

世間は、紅葉に「また来年」と言いながら、クリスマスの準備をしている季節の中、私は、プログラミング言語と呼ばれる人造言語の不条理に忙殺される中で、外大のALUMNI NEWSに寄稿しないかという依頼が来た。

「日本語学科卒ですが、プログラマーをやっています」と言うと、「えー全然違うものですね」のが、卒業以来よく聞こえる。

私も、一度「文法」や「言語学」や「シニフィアンとシニフィエ」など、これからアーカイブされるだろうと思った。

IT業界は、それぞれのルーツを持っている人が集まっている場所です。人々の日本語の能力も違う。コーディングは真っ白な素人だが、たまに「この日本語正しい？」のようなチェックの依頼がある。

そして、ある日、同僚の仕様書をチェックするとき、「ここは『は』ではなく『が』です」と言ったら、「なぜですか」と質問され、「『は』は主題、『が』は主語」という授業で学んだことがすらすらと答えた。

すると、あの４年間は、決してアーカイブされるのではなく、健全なる魂の養分になるだろうと気づいた。



レポートや卒論、現在毎日書いたソースコードまで、長い間ずっと愛用しているキーボード

外大祭模擬店

11月３日（日）、外大祭に出店しました。恒例のあめ玉つかみと校友会グッズ販売で参加しました。あめ玉つかみは人気で、参加者148名、箱の穴から拳が抜けないくらいでした。皆様、ありがとうございました。



「中国語学科創設50周年記念祝賀会」開催

2024年11月16日、「中国語学科創設50周年記念祝賀会」が開催されました。

中国語学科は日中国交回復の２年後、1974年に創設されましたが、学科50年の歩みは、卒業生が日中両国間の交流に寄与し続けた歩みでもあります。

当日は講堂での式典に続き「リブレ」で懇親会が行われ、中華人民共和国駐大阪総領事館参事官 聶瑞麟閣下、副領事 李若氷閣下のご臨席と、堀川徹志理事長･総長、小野隆啓学長のご参加を得て、来賓、卒業生等で150名を超える大盛会となりました。参加者は均しく旧交を温めながら、50周年を讃え、学科の未来に思いを馳せました。

学科長　岡本俊裕



→ 韓国支部

支部長　康　淑姫　h20年度日本語学科卒

■ 韓国支部　第９回総会・懇親会開催報告

2024年６月15日、大学から由井紀久子先生、安達秘書室長、校友会から杤込会計の参加をいただき、総勢９名でソウル仁寺洞のヤンバンデクにて６年ぶりに第９回韓国支部総会を開催いたしました。会議はスムーズに進み、先生方のお話や近況報告など、また韓定食をいただき、元大統領官邸青瓦台見学など楽しい時間を過ごしました。



課題は参加者を増やし、活動を充実させることです。韓国在住の卒業生、駐在中の卒業生等と連絡を取り合って新たな繋がりを模索し、交流の輪を広げていくことです。



→ 和歌山支部

支部長　植西仁美　h3年度英米語学科卒

■ 和歌山支部第14回総会・懇親会の報告

令和６年７月７日（日）、ホテルアバローム きのくにで第14回和歌山支部総会を開催いたしました。総会後、約30名の方にご参加いただき、二胡の演奏会、懇親会を行いました。二胡の持つ独特な優しい音色を聞いてとても癒されました。そして、懇親会では、おいしいお料理をいただきながら、皆様の近況報告をお聞きし、大きな刺激をいただきました。大学からは和歌山で地域とともに頑張る後輩たちの姿が紹介され、うれしく、微笑ましく感じました。







→ 教志会

前会長　左近正則　s58年度英米語学科卒

英語教育実践報告会を令和６年７月27日（土）に開催し、60名を超える参加者がありました。京都外国語短期大学 キャリア英語科 教授 山本玲子先生による講演「理論と実践が出会う場所―学び続ける教師を支える身体（心とからだ）論―」実践報告



① 横須賀市立常葉中学校 若林完樹先生「教室から社会・世界に広がる英語授業」②和歌山市立和歌山高等学校 上田智子先生「英語科授業について 多角的な視点からのアプローチ」③兵庫県立国際高等学校 安藤洋之先生「訳読に頼らないリーディング指導の実践」をテーマに発表していただきました。



イタリア語学科創設20周年記念卒業生のつどい・懇親会

11月30日（土）に『イタリア語学科創設20周年記念卒業生のつどい』を開催しました。120名を超える卒業生が集まりました。菊池正和先生、國司航佑先生もご参加くださいました。学科長の近藤直樹先生の司会で、浅井芙美子さん、高橋正吏さん、安川依希子さん、長尾岳仁さんが思い出を語りました。

懇親会ではカーサ・ビアンカのイタリア料理を味わいながら親睦を深め、校友会からは中野多郎右エ門会長にご出席いただきお祝いのことばを頂戴しました。参加者のみなさまに感謝申し上げます。

学科教員　橋本勝雄







→ 福井支部

支部長　松川欽哉　s44年度英米語学科卒



■ 次代へ繋げよう…「福井県」・「福井支部」

令和６年３月16日北陸新幹線福井・敦賀が開業しました。福井を訪れる人も増え県内は多いに賑わってきました。また、外国からの人も多く見られるようになり福井でも少しだけ語学力を試す機会が訪れました。

さて、福井支部は８月４日に「第10回記念福井支部総会・懇親会」を開催しました。

出席者全員に「校友会のシンボルマーク入りうちわ」を配布、裏面に出席者のメッセージを書いて発表して貰いました。

写真の「うちわ」は堀川理事長・総長が書かれたものです。出席者に抽選でプレゼントして頂き当選者（福井支部の林さん）は額に入れて自宅に飾っているそうです。

→ 徳島支部

支部長　岸本和代　s51年度英米語学科卒



令和６年８月14日、第30回徳島支部総会をホテルクレメント徳島にて開催いたしました。

校友会役員、大学関係者、東京支部長をはじめ、ドイツからもメンバーにご出席頂き交流を深めあう、有意義なひと時を過ごすことができました。

懇親会ではモラエスを顕彰する活動報告やハワイアンバンドの演奏をバックに皆で、にぎやかに合唱をしました。

夕刻には阿波踊りの有名連・藝茶楽連のご協力を頂き、「京都外国語大学校友会連」は「踊る阿呆に見る阿呆」と笑顔一杯に演舞場に踊り込みました。

→ 富山支部

支部長　杉本博司　s53年度英米語学科卒







第14回富山支部総会･懇親会を８月17日にANAクラウンプラザホテル富山にて開催致しました。

中野校友会会長、校友会役員、舟杉副学長、大学関係の方々、兵庫、大阪、福井、石川支部の各支部長と支部間交流で京都支部からもご出席頂き、26名での開催になりました。

また津沢夜高太鼓民謡保存会の皆様の素晴らしい太鼓と踊りが披露され、地元の民謡「越中おわら節」を参加された皆さんで踊り、楽しく親睦を深めて頂きました。

→ 石川支部

三澤伊都美　s56年度ブラジルポルトガル語学科卒



令和６年９月28日（土） 金沢市石亭に於いて、校友会石川支部総会･懇親会を開催いたしました。

当日はお天気に恵まれ、県外からも多くの方にご出席いただき、皆様と楽しいひとときを共有でき、感謝の気持ちでいっぱいです。

また、鹿児島支部長からの差入れの“魔王”には行列でした。おいしかったです。ありがとうございました。

令和６年元旦能登半島大地震・９月能登半島大豪雨と石川県は災害に見舞われました。能登の方では未だ復旧、復興など見通しが立たないのが現状ですが、皆様からのご支援･励ましありがとうございました。

→ 鹿児島支部

支部長　鬼丸　宏　s40年度英米語学科卒



令和６年10月５日、京都外国語大学校友会鹿児島支部総会が開催されました。以前は英語講師による講演会をしておりましたが、今年は食に関する内容で東京在住の柳田かおり氏による米粉料理の講演や、鹿児島支部副会長の田中さんによる日本の紅茶に関する講演がありました。

次回は大隅半島へのバスツアーを計画し、京都外大の県内出身者の参加を促進したいと考えています。支部総会で外大を盛り上げ、母校の発展に協力していきたいです。

→ 滋賀支部

支部長　木下輝明　s41年度スペイン語学科卒



10月５日（土）、JR近江八幡駅前のホテルニューオウミで第４回滋賀支部総会が開催されました。第１部では会計報告、第２部では「よし笛」と卒業生のヴァイオリン演奏、琵琶湖周航の歌が披露され、参加者は優雅なひとときを楽しみました。



第３部の懇親会では、小野学長から乾杯の挨拶をいただき、職員が大学の現状を紹介。楽しい雰囲気の中、卒業生バンドの演奏を聴きながら美味しい食事を楽しみ、東京支部と滋賀支部からのおみやげ抽選会も行われ、またの出会いを楽しみに会を終えました。

→ 兵庫支部

支部長　川口榮一　s41年度英米語学科卒



令和６年10月５日（土）にホテルヴィスキオ尼崎にて第11回総会･懇親会を開催いたしました。懇親会ではフラダンス部の皆様に華やかな演舞で会を盛り上げて頂きました。今回はお昼の時間の開催となりましたが、昨年以上に沢山の方にご参集頂き、盛会の内に終えることができましたこと、心より感謝申し上げます。兵庫支部では、本年度も総会･懇親会の開催を予定しております。引き続きご支援・ご協力を賜りますよう、宜しくお願いいたします。



→ 欧州支部

支部長　村井一博　s59年度英米語学科卒



2024年10月12日、EU支部設立30周年記念総会をパリのRestaurant Caliceにて堀川理事長・総長、中野校友会会長をお迎えし開催いたしました。総会･懇親会の後、セーヌ川クルーズ、夕食はLA SOURCEにて本場のチーズとワインで和やかに交流を深めました。

今回はEU加盟国だけでなく、イギリス、スイスからの会員も多く、この機会に校友会EU支部から「欧州支部」に変更することに致しました。

支部長は24年間EU支部長を務めてきた松本幸枝からドイツ在住の村井一博に、副支部長はイギリス在住の浅越絵美子に交代いたします。今後とも欧州支部をよろしくお願いします。

京都外国語大学校友会 検索

→ Club HAT's

会長　中野秀治　s53年度フランス語学科卒



厳しかったコロナ禍を耐え抜き５年ぶりに親睦会をホテルグランヴィア大阪スカイダイニング アブで開催致しました。

約40名の観光業に関わる卒業生にお集まり頂き、恒例の名刺抽選会も復活！　５年ぶりの開催で、景品は特別豪華にしました。

今年度、社会人となったお二人に突撃インタビューもあり、緊張しながらも日々奮闘する姿は、先輩方から大変好評でした。歓談時には普段あまり接点のない方々との良い交流の場となり大盛況でした。

クラブハッツ親睦会は今後毎年開催を予定しております。次はあなたの参加をお待ちしております！

→ 高知支部

支部長　髙島　勉　s58年度英米語学科卒



令和６年10月26日（土）に第13回高知支部総会･懇親会を城西館にて開催いたしました。

今回は新たに高知城、また幕末の志士坂本龍馬の生誕地に近い会場に変更いたしました。

初めて参加していただいた若い会員、またお久しぶりの会員と年代も幅広く参加いただき、お互いの近況や学生時代の思い出など歓談し、大変充実した会になりました。

今後の支部の会では、以前会員の方々に発表していただいていた卒業後のあらゆる分野での講習会などを企画し、さらに充実したものにしていきたいと考えております。

→ 上海支部

前支部長　奥原崇之　h4年度中国語学科卒



11月３日（日）上海ガーデンホテル最上階のフランス料理店にて、2019年末のコロナ禍から５年ぶりとなる上海支部総会を開催しました。

支部12名の他、前日の日本語プレゼンテーション大会に出席された堀川徹志理事長・総長、近藤直樹イタリア語学科長、白鳥文子留学生別科長、岡本俊裕中国語学科教授、また校友会から杉本博司様、川村欣司様にご参加頂き、今回は在上海日本国総領事館　岡田勝総領事・大使も特別ゲストにお迎えし、全員参画の形で執り行いました。 先生方や普段交流機会の少ない総領事大使とも会話しながら、５年ぶりの総会を楽しみました。来年以降も引続き支部運営を継続していきたいと思います。

→ 東京支部

支部長　青木光子　s52年度英米語学科卒



2025年２月１日、東京ステーションホテルにて第36回東京支部総会・懇親会を開催し、70名の卒業生が集いました。格式高い会場で、世代を超えた交流が深まりました。最初に東京駅の歴史見学ツアーを行い、貴重な建築や歴史に触れる機会となりました。



懇親会では、フランス料理のフルコースが提供され、クラリネットの生演奏が優雅な雰囲気を演出。さらに、クイズ大会、抽選会を開催し、大いに盛り上がりました。美食と音楽、楽しい企画で会話が弾み、大盛況のうちに閉会しました。

→ ソフトテニス部

OB会副会長　中村孝夫　s40年度英米語学科卒

■ 令和６年秋のOB会に参加して

まずソフトテニスOB会は2008年に立ち上げ、年会費で運営し春はOB会主催で総会を含む現役との交流戦・懇親会を行い、秋は現役主催で開催しています。又OB会事務局より年３回「OB会だより」を発行しています。



今回（R6）秋開催のOB会では宮林利廣氏（昭和46年度卒）と吉田（藤縄）裕理子氏（昭和40年度卒）が初参加し、約60年ぶりで学生時代の話に満悦することができました。今後とも事務局を中心にOB会を運営してまいりますので宜しくお願いします。



→ 剣道部

OB会会長　作間幸雄　s59年度英米語学科卒

当会がかかわる大きな行事としては、５月の総会と12月のOB大会があります。

総会では議案の検討以外に新入部員の紹介が行われ、令和６年度は１名が入部してくれました。



OB大会は西京極の体育館で行われ、男子２チームと女子１チームが出場しました。

近年は年配者だけでなく若手も積極的に出場してくれるようになり、OB会としても喜ばしい傾向だと考えています。大会の詳細は校友会のHPをご覧ください。



→ 混声合唱団ソレイユ

事務局　栄　咲子　s57年度ブラジルポルトガル語学科卒

2024年７月28日（日）に９号館７階、インターナショナルホールで総会を、懇親会をカフェタローで開催しました。今回は創部65周年ということで、学内で催すこととなりました。OB・OG48名、現役学生７名、総勢55名の参加がありました。懇親会では、OB・OGが各々近況報告を行い、大いに盛り上がりました。その後にインターナショナルホールに移動して、現役の合唱を聞き、OB・OGと現役が練習をはさみ、皆で合唱を楽しみました。





第30回小・中学生英語スピーチコンテスト決勝大会開催報告（和歌山支部）

令和６年12月８日（日）に、田辺市文化交流センター「たなべる」を会場に、第30回ジョン・ケンドリック杯小・中学生英語スピーチコンテスト決勝大会を開催しました。一次審査を通過した小学生12名と中学生13名は、堂々と、表現豊かにスピーチを披露してくれました。また、コンテストの名前である「ジョン・ケンドリック」について作家の佐山和夫様にもご講演いただきました。

出場者が懸命に発表する姿や内容が聴衆の心に響き、大きな感動を与えてくれました。これからも郷土和歌山に誇りを抱き、広く世界に目を向け、楽しんで英語を学んでくれることを願っています。



支部長　植西仁美（h3年度英米語学科卒）

→ 能楽部

OB会副会長　藤原敏起　s58年度英米語学科卒



令和６年12月８日河村能舞台にて第59回外大能が一般学生他の特別参加者を募って開催されました。当日はコロナ禍を乗り越え活動している現役部員を応援する為、大勢のOB・OGが舞台に駆けつけました。

１年間の主な行事は、新春に現役部員と開催する「謡初め」、夏はOB会総会とOBメンバーによる花鏡の会主催「ゆかた会」、そして12月の「外大能」です。

令和７年は創部65周年記念･第60回外大能という大記念の年となります。今後も更に現役部員を盛り上げていきたいと思っています。



→ ローターアクトクラブ

同窓会長　神谷昌明　s55年度英米語学科卒



■ 第７回ローターアクトクラブ同窓会（OB・OG会）総会及び懇親会

令和６年10月26日（土曜日）、11号館２階会議室にて総会、２階ラウンジにて懇親会（現役学生との交流会）を執り行いました。

総会では、会務報告がなされ、その後、役員の改選（再選）を行いました。懇親会では、現役学生３名の皆さんから現在の活動報告をしてもらいました。ロータリークラブの理念・精神で活動を共にした仲間は、世代を超えて一つの絆で結ばれていることを感じ取ることができる有意義な１日でした。



参加者集合写真　　総会の様子

→ 空手道部

OB会会長　前田早斗　s63年度英米語学科卒



創部66年となる空手道部では昨年10月26日に現役・OB合同稽古ならびにOB総会を開催いたしました。当日はOB・OG、顧問、現役合わせて36名が５年ぶりに再会し、創部時のOBから現役部員まで幅広い世代が一緒に稽古で汗を流し、総会後の懇親会も大いに盛り上がり、笑顔と歓声の中、フィナーレの「平安歌」まであっという間に時間が過ぎました。

創部70周年に向け、これからも現役とOB・OGが一丸となり益々の発展につなげて参ります。



→ 少林寺拳法部

松本竜大　h5年度中国語学科卒



こんにちは！　少林寺拳法部です。かつては数十人の勢力を誇った拳法部も今や現役生３人のみとなり、毎年存亡の危機に晒されています。

そんな中、令和６年11月に現役生、監督を交えてOB会を開催。新執行部発表、学生OB会長就任報告が行われました。

これからは令和に相応しい明るいOB会にせねば！と、おしゃれなイタリアンにて、やっぱり昭和な、武勇伝や、シゴキの話で盛り上がったのでした…。



→ ボクシング部

OBOG会　谷口仁一　s56年度ブラジルポルトガル学科卒





令和６年12月１日（日）にボクシング部OB・OG会を開催致しました。

平成30年がコロナの為最後になり６年ぶりでした。

中々参加者が集まらず60歳以上の６名でのこじんまりした高齢者の会でしたが練習場で現役と一緒に汗を流しました。その後は校内見学、懇親会へと進み思い出話に花が咲きましたが今後、平成、令和卒業の後輩達にいかに参加してもらえるかを考えていかなければならない大きな課題が残りました。来られなかった方は、是非次回ご参加下さい。



→ 自然科学研究会

OB会会長　大澤弘明　s53年度中国語学科卒

2024年12月７日、大阪・梅田にて自然科学研究会OB会の総会･懇親会を開催いたしました。昭和45年度から平成３年度卒の方々のご参加をいただきました。卒業以来の懐かしい再会もあり、喜びも格別でした。今なお研究を続けている方、地元の子供たちと学びを続けている方など、それぞれの地域とのかかわり合いの中で、自然を愛する精神は、あの当時のままです。来年も開催を予定しておりますので、ご参加をお待ちしております。



→ ヨット部

大西政雄　s56年度英米語学科卒

２月８日（土）13時より がんこ京都駅ビル店にて、ヨット部OB会（帆友会）新年互礼会を開催いたしました。

冒頭 門谷会長より挨拶　新年度の役員改選の了承と昨年の全国学生ヨット選手権（インカレ）の成績などについて話されました。

続いて現在３回生の山田君が、ヨット部再建について熱く語り、OB会としても協力は惜しまないことを確認いたしました。

三宅先輩（昭和30年卒業）の乾杯発声により懇親会が始まり、食事と歓談の後、坂井先輩並びに長谷川先輩の閉会の言葉を頂戴し、終了いたしました。



→ 弦楽アンサンブル

砂間琴子　h22年度日本語学科卒

弦楽アンサンブルは今年、創部35周年を迎えました。会ではOB・OGの演奏と、現役生との合同演奏も行われました。曲を通して、ともに音楽を奏でる楽しさと、音楽がつないできた絆を改めて感じました。創部された１期生の先輩もご出席されました。たった二人の音楽好きから始まったという創部に至った経緯を伺うこともでき、記憶に残る会となりました。今後も音楽から生まれた絆が世代を越えてつながっていき、40周年、45周年と迎えられることを祈っています。





令和６年度　校友会事業報告

主な行事	
6月15日(土)	大学との交流会〈11号館２階　ラウンジ〉
7月　5日(金)	外国人留学生給費奨学金授与式（留学生別科）〈8号館２階　会議室Ｂ〉
11月　3日(日)	外大祭　模擬店出店
29日(金)	外国人留学生給費奨学金授与式〈8号館2階　会議室B〉
12月12日(木)	『輝く星となる学生』給費奨学金授与式〈8号館2階　会議室A〉
■ R7年	
1月17日(金)	併設短期大学推薦編入学試験入学検定料補助金（給費）授与式〈1号館7階171教室〉
18日(土)	大学との新年会〈ホテルオークラ京都〉

支部総会・懇親会	
5月　9日(木)	東京支部　第23回理事長杯ゴルフコンペ（単年特定活動）〈カントリークラブ　ザ・レイクス〉
6月15日(土)	韓国支部　第9回総会・懇親会〈ソウル　ヤンバンデク〉
30日(日)	福井支部 こども国際講座（特定活動）〈福井県立図書館・多目的ホール〉
7月　7日(日)	和歌山支部　第14回総会・二胡演奏会・懇親会〈ホテルアバロームきのくに〉
27日(土)	教志会　英語教育実践報告研究会・懇親会〈4号館 R452〉
8月4日(日)	福井支部　第10回総会・懇親会〈福井フェニックスホテル〉
14日(水)	徳島支部　第30回総会・懇親会・阿波踊り〈ホテルクレメント徳島〉
17日(土)	富山支部　第14回総会・懇親会〈ANAクラウンプラザホテル富山〉
9月28日(土)	石川支部　第15回総会・懇親会〈かなざわ　石亭〉
10月　5日(土)	兵庫支部　第11回総会･懇親会〈ホテルヴィスキオ尼崎〉
5日(土)	滋賀支部　第4回　総会・懇親会〈ホテルニューオウミ〉
5日(土)	鹿児島支部　総会･懇親会(マークメイザン･「さかなちゃん」)
12日(土)	EU支部　設立30周年記念総会〈Restaurant Calice〉
20日(日)	福井支部　福井県国際フェスティバル（特定活動）〈福井県国際交流会館〉
23日(水)	Club HAT's　総会・懇親会〈ホテルグランヴィア大阪19F「スカイダイニング　アブ」〉
26日(土)	高知支部　総会・懇親会〈城西館〉
11月　3日(日)	上海支部　設立15周年総会･懇親会(花園飯店　カフェローズ)
12月　8日(日)	和歌山支部　ジョン・ケンドリック杯小・中学生英語スピーチコンテスト〈田辺市文化交流センター「たなべる」〉
■ R7年	
2月　1日(土)	東京支部　第36回総会・懇親会『卒業生のつどい』〈東京ステーションホテルアトリウム〉

※役員会・常任幹事会等の会議を除く。

令和７年度　校友会事業計画（令和7年4月末現在）

5月24日(土)	剣道部　OB会総会・懇親会
6月28日(土)	韓国支部　第10回総会・懇親会
21日(土)	大学との交流会
28日(土)	学生放送局　第11回OB・OG会総会・懇親会
7月　6日(日)	福井支部「子ども国際講座」
6日(日)	和歌山支部総会・講演会・懇親会
26日(土)	教志会　英語教育実践報告研究会・懇親会
8月14日(木)	徳島支部総会・懇親会・阿波踊り
9月中旬	福井支部総会・懇親会
9月27日(土)	クラブ同窓会連絡会
10月予定	Club HAT's 総会・懇親会
10月19日(日)	福井支部「福井県国際フェスティバル」
25日(土)	兵庫支部　第12回総会・懇親会
11月予定	上海支部総会・懇親会
11月　8日(土)	福岡支部総会・懇親会
12月　6日(土)	東京支部総会・懇親会
■ R8年	
1月17日(土)	大学との新年会

※事業計画は都合により変更される場合があります。
※役員会・常任幹事会等の会議を除く。

〔SNS開設についてのお願い〕
校友会支部・クラブ同窓会などのSNS開設に関しましてはプライベートグループの管理者設定でお願いいたします。また校友会ロゴの使用は正式な校友会パブリシティ広報活動として使用し、SNSなどの任意のコミュニケーションツールでは使用を控えてくださいますようお願いいたします。

校友会役員

会　長	左近　正則	(s58A)
副会長	木下みゆき	(s56H)
副会長	杤込　敏一	(s63A)
書　記	杉本　博司	(s53A)
書　記	三角　雅彦	(s57A)
書　記	川本　葉子	(h09A)
会　計	加納友美子	(s60A)
会　計	大野　和男	(s52E)

校友会監査

監査役	神谷　昌明	(s55A)
監査役	中司　浩幸	(s59E)
監査役	佐野　　智	大学事務局長

顧問

中野多郎右工門（s44A）

常任幹事

前田　正久	(s46A)	神屋　信仁 (s47G)
竹内　信夫	(s51A)	手塚志津恵 (s51A)
川村　欣司	(s52A)	青木　光子 (s52A)
杉本　隆文	(s54F)	今井真貴子 (s55I)
畑田　正人	(s60A)	福島　良雄 (s63A)
金島　由香	(h01A)	藤田　昌弘 (h01A)
原口　浩史	(h06E)	前田　恵美 (h10A)
大塚　妙香	(h19G)	ウイルソン恵 (h22A)

柴岡　和生	(s48A)	
抬井　　満	(s52A)	
丸山　　均	(s52H)	
蔭山　峰子	(s60A)	
川畑　正樹	(h01A)	
竹村　紀子	(h02A)	
野中　　仁	(h15I)	

校友会支部連絡先　※個人情報につき取扱いには十分ご注意ください。

令和7年4月末現在

〈国内支部〉

東京支部	支部長	青木　光子	yuiyu81@yahoo.co.jp
大阪支部	支部長	東　ケイジ	azumakeiji7@gmail.com
京都支部	支部長	古澤　昭人	dan-akito@maia.eonet.ne.jp
徳島支部	支部長	岸本　和代	thanks-kazupage@me.pikara.ne.jp
富山支部	支部長	杉本　博司	hiroshisgmt@gmail.com
石川支部	支部長	手塚 志津恵	kyoshitsu109@coda.ocn.ne.jp
高知支部	支部長	髙島　　勉	mjtss321@ybb.ne.jp
福岡支部	支部長	北村　　亨	alumni.fukuoka@gmail.com
鹿児島支部	支部長	鬼丸　　宏	099-243-5331
和歌山支部	支部長	植西　仁美	uenishihitomi@gmail.com
福井支部	支部長	松川　欽哉	kichan22@mx4.fctv.ne.jp
兵庫支部	支部長	川口　榮一	info@chuken.org
滋賀支部	支部長	木下　輝明	azuchiteluaki@smile.ocn.ne.jp
沖縄支部		再活動準備中	
Club HAT's	会長	中野　秀治	hid.nakano54@gmail.com
教志会	会長	樋口　一哉	kazuyawalla3099@gmail.com

〈海外支部〉

ロサンゼルス支部		再活動準備中	
欧州支部	支部長	村井　一博 (s59A)	hiromurai104@aol.com
メキシコ支部	支部長	原田　泉 (s47E)	i_harada1011@yahoo.co.jp
アルゼンチン支部	支部長	谷口　庄平 (s37A)	
ブラジル支部	支部長	ヴォウタニ 友美 (h15H)	actually_tomomi@hotmail.com
チリ支部	支部長	山口　大介 (h1E)	d.yamaguchi@kampomarino.cl
上海支部	支部長	鄭　嘯宇 (h24J)	ruby19861105@163.com
シンガポール支部		再活動準備中	
香港支部		再活動準備中	
韓国支部	支部長	康　淑姫 (h20J)	toku-duhi@hotmail.co.jp
台湾支部	支部長	澁谷　浩 (s60I)	hao-segu@biduying.com.tw

活動中のクラブ同窓会紹介　※下記クラブ同窓会と連絡をおとりになりたい方は、京外大校友会･事務局（075-322-6057）にお電話ください。

クラブ名	会長(世話人)名	卒業年度・学科
卓球部	中辻　政明	s43A
サッカー部	森本　昌利	s57G
ソフトテニス部	吉田　一郎	s39A
ヨット部	大西　政雄	s56A
弓道部	上野　森由	s38A
空手道部	前田　早斗	s63A
剣道部	作間　幸雄	s59A
硬式庭球部	山本　正太	h14A
硬式野球部	八木精一郎	h03A
柔道部	河越　将守	s44A
少林寺拳法部	中川　賛一	h03I
ボクシング部	平松正四郎	s44E
バレーボール部	谷口　賢一	s52A
バスケットボール部	大元　浩文	s58A
応援団	川中　健司	s44A
陸上競技部	菊本　厚次	s48H
スカウトクラブ	植木　省道	s55E

クラブ名	会長(世話人)名	卒業年度・学科
ローターアクトクラブ	神谷　昌明	s55A
自然科学研究会	大澤　弘明	s53I
海外事情研究会	沢田　勝義	s46H
混声合唱団ソレイユ	米田　宣昭	s46A
貿易研究会	植松　宏行	s43A
能楽部	島谷　直見	s51A
ＦＧＣ	藤田　　卓	s45A
弦楽アンサンブル	宮田　怜奈	h30A
吹奏楽団	平原　靖彦	h01I
ドイツ語研究会	神屋　信仁	s47G
ＥＳＳ	桟敷　雄二	s48A
学生放送局	小川　欣一	s42A
アメリカンフォークソングクラブ	田賀たづみ	s44A
スペイン語研究会	吉富志津代	s53E
茶道部	立古　佳一	s61G
探検部	川畑　正樹	h01A
サウンドアーツフォークソングクラブ	抬井　　満	s52A

※変更がある場合には校友会事務局へご連絡をお願いします。